

3類型	鉱工業品	通巻番号	3-23-179
地域資源名	遠州織物	認定日	平成24年2月3日
地域	静岡県浜松市	所管省庁	経済産業省

**事業名：ストレッチデニムを始めとする天然素材を活用した着物用広巾織物
及び実用着物等の開発と市場開拓**

会社名：榎本株式会社

所在地：静岡県浜松市中区砂山町329-4

連絡先：TEL：053-458-3703
FAX：053-452-5856

H P：http://www.enomoto-hamamatu.co.jp

事業概要(新たな活用の視点)

遠州地方は江戸時代から綿織物の産地として知られ、全国有数の繊維の街として発展してきた。しかし近年では、中国を筆頭とするアジア諸国からの輸入攻勢に見舞われ、産地規模が大幅に縮小している。

今回の事業では、遠州織物の製造ノウハウを活かし、天然素材を用いた着物用広巾織物とこれを使った実用着物及び和装小物の開発を行う。20代、30代の男女を新たなターゲットとし、着物入門編として手入れや着付け、価格など従来の着物の問題点にも踏み込み、新たな市場開拓を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

アジア地域で作られるポリエステルなど合繊製の安価な着物と、日本で作られる正絹の高級着物が競合商品となる。

本事業で開発する生地は綿・麻・ウール等の天然素材を使用し、遠州地方の繊維事業者の歴史ある分業体制を活用し製造する。そのため、高品質を維持しながらも、着易くかつリーズナブルな価格帯での販売を行い、競合商品との差別化を図る。

◆市場性

若者を中心に、着るのも手入れも楽で、着る場所が確保でき、5万円～10万円以下の価格であれば、着物を着たいというニーズは顕在化している。本事業はまさにこのニーズをターゲットとしており、市場拡大が期待できる。

◆販路

呉服専門店での販売はもちろん、百貨店やアパレル、大手雑貨店や家具ショップも販路として活用し、新たな市場に対してインテリアと組合せた「和のライフスタイル」をトータルに提案する。

地域資源における関係事業者との連携

生地開発、製造においては地元の繊維事業者と共同で開発する。販路拡大においても、地元自治体等のイベントも活用し、地元資源の活用を積極的に推進し、顧客層を拡大する。



【試作した広巾生地】



【広巾生地を使った実用着物の試作品】